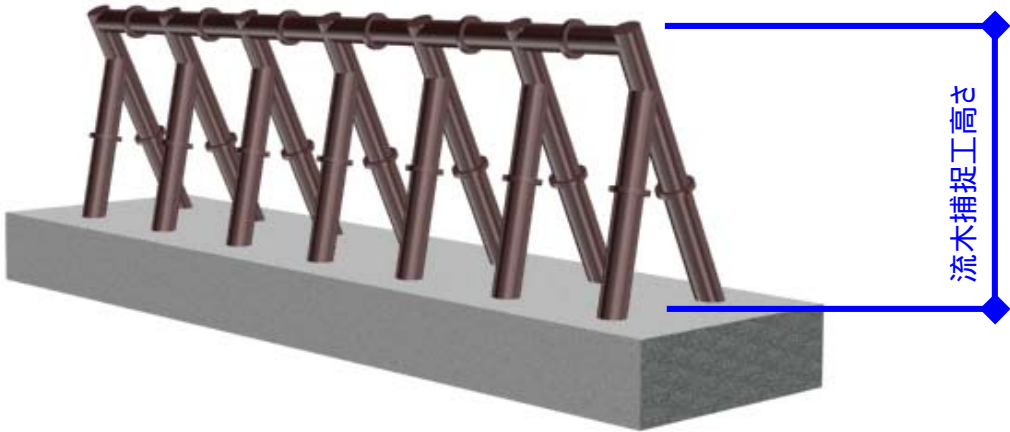


流木捕捉工 D - スリット

『流木捕捉工 D - スリット』は、掃流区間の鋼製流木捕捉工として施工・捕捉実績を積み上げてまいりました「D型スリット堰堤」を、流木捕捉機能は確認しながら形状、構造を一から見直し、より経済的な流木捕捉工へと改良したものです。
 公共工事コスト縮減に微力ながら貢献できることを願っております。

構造・仕様

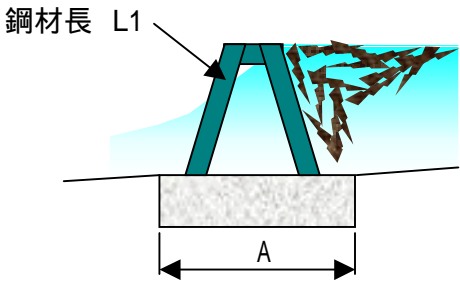


標準仕様

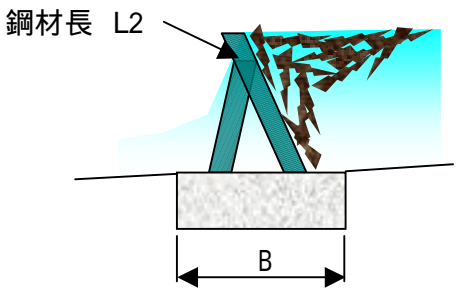
流木捕捉工高さ	2.0m, 3.0m, 4.0m, 5.0m
部材規格	鋼管 : STK400、STK490

: 上記高さ以上の場合でも、ご相談ください。

経済性(当社比)



従来タイプ(D型スリット堰堤)



新タイプ(流木捕捉工 D - スリット)

鋼材量の削減
 (鋼材長で比較)
 $L1 > L2$ (約20%の削減)

コンクリート量の削減
 $A > B$ (約20%の削減)

鋼製部直工費の比較(当社比:参考)

	H=2.0m	H=3.0m	H=4.0m	H=5.0m
従来タイプ	1.0	1.0	1.0	1.0
新タイプ	0.77	0.44	0.64	0.61

: 条件により上記値は変わります。

従来タイプに比べて、**大幅な経済性**を実現しました。

流木捕捉機能

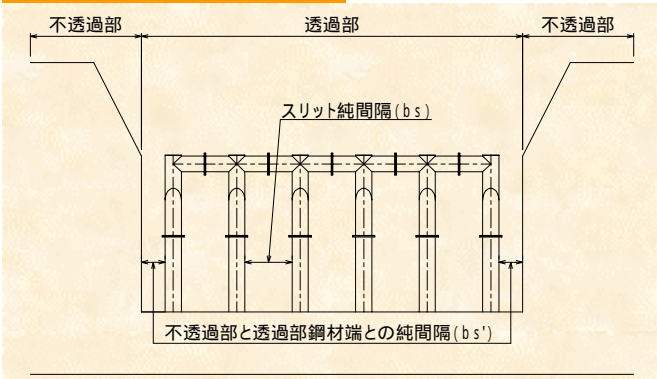
水理模型実験で、従来の鋼製流木捕捉工と同等の捕捉機能を有することを確認しました。



模型縮尺 : 1/60
 水路幅 : 30cm
 水路長 : 10m
 勾配 : 1/100、1/50

透過部の設定

スリット純間隔の決定方法



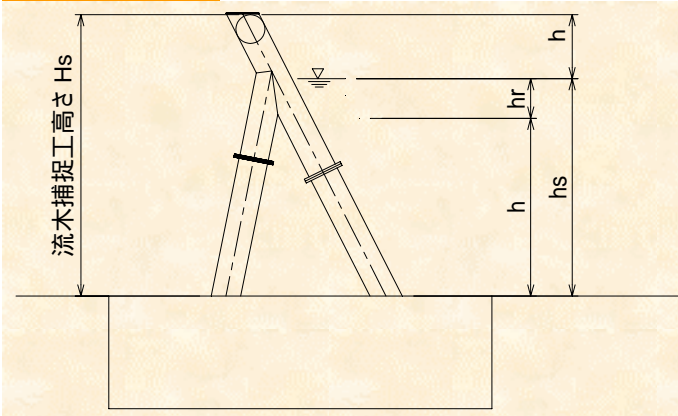
スリット純間隔 (bs) は下記条件を満足させよう決定します。

透過部が転石で閉塞しないように、最大転石径の2倍以上とする。

流木を捕捉するために、最大流木長の1/2以下とする。

不透過部との純間隔 (bs') は、 bs より狭くします。

高さの決定方法



流木捕捉工の高さ (Hs) は、透過部材による堰上げ高を加えた水深 (hs) に流木捕捉に必要な高さ (h 、少なくとも最大流木径の2倍以上) を加えた値とします。

Hs は上記の値以上になるように、メートル単位で切り上げます。

参考歩掛り

(1 ton 当たり)

項目	単位	歩掛り	備考
土木一般世話役	人	0.1	
とび工	人	0.4	
普通作業員	人	0.3	
ラフレンクレーン	時間	0.6	25t

(注1) 本表で対応しているのは、「架設用アンカー設置」、「鋼製部(フレーム)の架設」及び「ボルト本締め」の部分です。

(注2) 組立・据付は地組・仮締めを含みます。